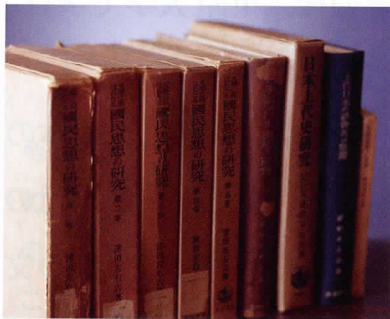




津田左右吉



左右吉の書いた本



左右吉記念館



作文を発表する児童

津田左右吉

(つだそうきち 1873-1961)

津田左右吉は大正・昭和時代の日本を代表する歴史学者です。

左右吉は下米田の出身で、今の下米田小学校に通っていました。その頃、森達先生の教えを受け、学問の道に進みました。

大学を卒業し、学校の教師や研究員をしました。その後、母校の早稲田大学教授になりました。そして、「古事記」、「日本書紀」の古い歴史の本についての研究書を発表しました。太平洋戦争が近づくと国粋主義者に弾圧され、研究書の発行を禁止されたり、天皇を軽んじたとして裁判を受けたりもしました。でも、左右吉は堂々と自分の考えを貫き通して、ゆるされ、学問の自由を守りました。

歴史研究の業績が認められ、昭和24年文化勲章を受章、昭和35年に美濃加茂市の名誉市民第1号になりました。

市内には左右吉の生家を移築した「津田左右吉記念館」があり、広く左右吉の業績を紹介しています。また、左右吉をたたえる津田顕彰会が発足し、活動しています。同会では毎年小中学生を対象とした作文を募集し、「津田左右吉賞」として子ども達の励みとなる行事などを続けています。